

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	地域コミュニティ推進事業			事業番号	34-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	市民生活部	齋藤 浩人	市民協働課	杉山 正彦	

計 画 (Plan)

総合計画体系	自治力	まちづくり目標	5	みんなで考え行動するまち	
		基本政策	10	市民と行政がともに力を合わせて歩むまちづくり	
		施策展開の方向	1	地域の力が発揮できるまちをつくる	
		施策	34	多様なつながりで支える地域運営の推進	
予算事業名	コミュニティセンター運営費	大田ふれあいセンター運営費			
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	-
関連法令等	伊勢原市コミュニティセンター条例、伊勢原市コミュニティセンター条例施行規則				
国・県の計画等	-		計画期間	-	
関連個別計画	-		計画期間	-	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	行政運営に地域住民の力を借りる機会が増え、常日頃より地域住民との連携を図ることが行政運営にとって重要となってきています。				
目的 (何をどうしたいのか)	地域住民に自主的な活動の場を提供し、連帯意識を高め、健康で文化的な地域社会をつくります。地域の課題を地域が解決できるなど、自立した地域運営を促進します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	地域住民、市民活動団体				
事業内容 (手段、手法など)	・地域住民自らが地域課題を解決し行動する拠点として、地域コミュニティセンターの運営を地域住民に委託します。 ・大田ふれあいセンターは、公共施設等総合管理計画に沿って、大田公民館との機能統合を進めます。				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	地域コミュニティセンター	管理・運営	管理・運営		
	大田ふれあいセンター運営	公民館との機能統合検討	公民館との統合調整		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	コミュニティセンター年間利用件数	5,427件	5,500件	5,600件	

 事業実施 (Do) へ

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に自主的な活動の場を提供して連帯意識を高め、地域のコミュニティ活動の活性化を促進するとともに、指定管理者と協調して施設の維持管理を進めます。 ・軽微な施設修繕等は、引き続き、管理運営委員会に委ねますが、施工に多額の費用を要する大規模修繕や設備更新について計画的に実施するための営繕計画を策定します。 ・大田ふれあいセンターにおいて、隣接する公民館との機能統合に向けた検討を進めます。 			
実施方法 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外		委託:シルバー人材センター・指定管理:コミュニティセンター管理運営委員会	
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理		委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容	
実施結果	項目	年度		
		28年度	29年度	
	地域コミュニティセンター	管理・運営	管理・運営	
	大田ふれあいセンター運営	公民館との機能統合検討	公民館との機能統合への調整や利用者説明会の開催	
実施した取組の内容	○地域コミュニティセンターの管理・運営及び修繕○大田ふれあいセンターの管理・運営及び修繕 ○大田ふれあいセンターと公民館との機能統合への調整や利用者説明会の開催			
目標の達成状況	【指標名】	【現状】	年度	
			28年度	29年度
	コミュニティセンター年間利用件数	5,427件	5,929件	5,885件

年度		28年度 実績				29年度 実績			
事業費合計 (a)		21,348		千円	24,682		千円		
内訳	国県支出金 ①	0		千円	0		千円		
	地方債 ②	0		千円	0		千円		
	その他特財 ③	56		千円	50		千円		
	一般財源 (a)-①-②-③	21,292		千円	24,632		千円		
国県支出金の内容									
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		前回の改定時期				
		その他	大田ふれあいセンター自動販売機電気料金(平成29年度分)						
人件費	正規職員	0.50	人	4,325	千円	0.50	人	4,365	千円
	その他の職員	0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円
	人件費合計 (b)	0.50	人	4,325	千円	0.50	人	4,365	千円
トータルコスト (a)+(b)		25,673		千円	29,047		千円		
単位当たりコスト	対象数	定義	コミュニティセンター利用件数		単位	コミュニティセンター利用件数		単位	
		対象数	5,929		件	5,885		件	
	総事業費/対象数	4,330		円	4,936		円		

評価 (Check)へ

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	<ul style="list-style-type: none"> 年間利用件数については、概ね計画通りです。 大田ふれあいセンターと公民館との機能統合について調整を行い、利用者説明会を実施しました。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	近隣他市(海老名市、綾瀬市、大和市)と同水準の運営を行っています。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	地域住民への自主的な活動の場を提供し、連帯意識を高めていくために必要不可欠な施設です。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である(C)	A	左記判断理由	成瀬、伊勢原北、伊勢原南コミュニティセンターでは、地元住民により組織される管理運営委員会を指定管理者とすることで、円滑で効率的な管理運営が図られています。


 取組の改善 (Action)へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> 経年劣化に伴い大規模修繕を必要とする箇所が増加しています。 大田ふれあいセンターと公民館との機能統合については、利用者の立場に立ち調整を進める必要があります。
次年度以降の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の自主的な活動の場を提供して連帯意識を高め、地域のコミュニティ活動の活性化を促進するとともに、指定管理者と協調して施設の維持管理を進めます。また、施設の有料化についても指定管理者と具体的な調整を進めていきます。 大田ふれあいセンターと公民館等の統合については、具体的な調整と必要に応じて利用者の理解を得られるよう利用者への説明会等を実施します。
所管部長による総評	<ul style="list-style-type: none"> 成瀬、伊勢原北、伊勢原南の各コミュニティセンター管理運営について、自治会やPTA等地元団体の役員で構成する管理運営委員会が指定管理者となることで円滑な運営とコミュニティ活動の活性化を促進することができています。 大田ふれあいセンターについては、平成31年4月からの大田公民館との機能統合に向けて庁内関係部署が連携しながら具体的検討を進めるとともに、地元住民等に丁寧な説明をしていく必要があります。